

# 京大植物園を考える会

## 二十七日シンポジウム開催

京大植物園を考える会主催のシンポジウムが、五月二十七日(金)行われる。

京都大学北部キャンパスの東の一角にある、理学研究科附属植物園(京大植物園)。八十年以上の歴史をもち、研究教育の場として京大植物学を支えてきただけでなく、フィールド科学の京大、マクロ生物学の京大を支える人材を育成する場でもあった。また学部学生、一般の教職員、地域住

民が多数足を運ぶ場でもあり、

京大植物園では、二〇〇

二年から樹木伐採、除草剤散布など、園内の生態系を自然に近い状態に保とうとする従来の方針とは異なっ

た管理運営がなされるようになり、さまざまな波紋を呼んできた。

大学や国立の研究機関が軒並み法人化され、採算・効率化重視の流れの中で、植物園のように利潤と縁が薄い施設は逆風の中にい

る。では植物学の博物学的な側面は、現代の大学研究の中でどう位置づけられるのか。植物学研究者にとつての植物園の存在価値、利用価値はどこにあるのか。今回で二回目となる「考

える会」主催のシンポジウムでは、岩槻邦男氏が「植物園はいま」と題して、世界の植物園のあり方と国内の現状について概観し、植物園の目指すべき方向について基調講演を行う。続けて、植物生態学者である湯本貴和氏(大学共同利用機

関法人総合地球環境学研究所教授)らと、「植物園と植物学」というテーマで対談、更に来場者も含めた全体討論を通じて、京大植物園、そして全国の大学植物園や博物館のような施設のあり方を模索する。

(詳細情報は次のインフォメーションを参照)



岩槻邦男氏

プロフィール

京都大学理学部植物学教室出身。京都大学教授、

東京大学教授、立教大学教授を経て現在兵庫県立人と自然の博物館館長。東京大学理学部附属植物園長(社)日本植物園協会会長、国際植物園連合会会長などを歴任。昨年「日本の植物園」(東京大学出版会)を出版。

◆第二回植物園シンポジウム

日時:

二〇〇五年五月二十七日

午後五時半開場

会場:

京都大学時計台記念館

二階国際交流ホール3

プログラム:

・プレイベント

午後三時より

ロング植物園観察会

・プログラム1 (許可申請中)

午後五時四十五分頃より

基調講演 岩槻邦男氏

「植物園はいま」

・プログラム2

対談「植物園と植物学」

岩槻邦男氏・湯本貴和氏

ほか

・プログラム3

全体討論

(午後七時半頃終了予定)

主催: 京大植物園を考える会

協賛: 「京大」

ほか募集中

連絡先:

606-8799

左京郵便局私書箱5号

京大植物園を考える会

電話:

080-5718-9136

メール:

kyotoubg@hotmail.com